



## 2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年11月14日

上場会社名 株式会社今仙電機製作所  
コード番号 7266 URL <https://www.imasen.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 長谷川健一  
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 神谷明彦  
半期報告書提出予定日 2025年11月14日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東名

TEL 0568-67-1211

配当支払開始予定日 2025年12月1日

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日～2025年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	42,562	8.5	486		396		989	45.7
2025年3月期中間期	46,519	1.7	437		252		1,821	

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 395百万円 (67.8%) 2025年3月期中間期 1,229百万円 (14.2%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	45.95	
2025年3月期中間期	83.20	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	75,061	52,589	69.6
2025年3月期	78,331	53,041	67.3

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 52,249百万円 2025年3月期 52,704百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		7.50		12.50	20.00
2026年3月期		12.00			
2026年3月期(予想)				10.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	4.6	1,200	204.9	1,200	134.5	1,350	35.2	61.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	23,475,352 株	2025年3月期	23,475,352 株
期末自己株式数	2026年3月期中間期	2,080,319 株	2025年3月期	1,701,010 株
期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	21,543,593 株	2025年3月期中間期	21,898,366 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(追加情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、所得環境や消費が持ち直しつつあるものの、人手不足や物価高騰、米国の相互関税による輸出の減少に伴い回復傾向は緩やかなものとなっております。海外におきましては、中東やウクライナでの紛争に加え、8月より米国の追加関税が本格的に適用開始したことによる世界経済の下振れリスク、中国における景気後退や輸出減少等により、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要事業分野である自動車関連業界におきましては、中国市場における日系メーカーの販売不振継続や、米国の追加関税による対米輸出減少など、依然として厳しい経営環境にあります。

当中間連結会計期間におきましては、売上高は42,562百万円(前年同期比8.5%減)と減収ではあるものの、営業利益は、中期の会社目標「業績の回復と事業成長」の実現に向けて9つの重点施策に取り組む中で、構造改革や原価低減活動の効果が表れたことにより486百万円(前年同期は437百万円の損失)と黒字化いたしました。経常利益は前年同期に計上した為替差益が為替差損に転じたことにより396百万円(前年同期は252百万円の損失)となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、米国子会社におけるテネシー工場売却に伴う固定資産売却益を計上したものの、前年同期に投資有価証券売却益が多額であった影響により989百万円(前年同期比45.7%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (a) 日本

自動車関連事業におけるモデル末期機種が生産終了により、売上高は17,506百万円(前年同期比5.7%減)となりました。利益面では減収影響に加え、新規受注に伴う開発費の増加はあるものの、構造改革および原価低減活動の効果により、営業損失は590百万円(前年同期は687百万円の損失)と損失が縮小しました。

#### (b) 北米

為替影響に加え、生産品目の入れ替わりに伴うモデル末期機種が生産終了により、売上高は13,811百万円(前年同期比14.2%減)となりましたが、北米拠点集約による構造改革、原価低減活動および体質強化の推進により、営業利益は426百万円(前年同期比77.3%増)となりました。

#### (c) アジア

インドでの生産増加はあるものの、タイおよび中国での生産減少により、売上高は11,244百万円(前年同期比5.2%減)となりましたが、中国およびタイでの希望退職をはじめとした構造改革に加え、調達コストの改善により、営業利益は615百万円(前年同期は57百万円の損失)となりました。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (イ) 資産

当中間連結会計期間末における総資産は、75,061百万円(前期末比3,270百万円の減少)となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金の減少(1,689百万円)、電子記録債権の減少(1,399百万円)などにより、49,796百万円(前期末比2,830百万円の減少)、固定資産は、有形固定資産の減少(726百万円)などにより、25,264百万円(前期末比440百万円の減少)となりました。

##### (ロ) 負債

当中間連結会計期間末における負債は、22,471百万円(前期末比2,818百万円の減少)となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金の減少(820百万円)、電子記録債務の減少(722百万円)などにより18,123百万円(前期末比2,381百万円の減少)、固定負債は4,348百万円(前期末比436百万円の減少)となりました。

##### (ハ) 純資産

当中間連結会計期間末における純資産は、52,589百万円(前期末比451百万円の減少)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間において営業活動の結果増加した資金は、2,198百万円(前年同期比15.7%減少)、投資活動の結果減少した資金は、204百万円(前年同期は5,012百万円の増加)、財務活動の結果減少した資金は、1,651百万円(前年同期比45.9%減)となりました。

この結果、当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は14,947百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,198百万円の増加となりました。これは主として、仕入債務の減少額が1,367百万円であったものの、売上債権の減少額が2,831百万円、減価償却費が1,618百万円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、204百万円の減少となりました。これは主として、有形固定資産の売却による収入が1,310百万円、投資有価証券の売却による収入が242百万円であったものの、有形固定資産の取得による支出が1,914百万円であったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,651百万円の減少となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出が494百万円、リース債務の返済による支出が372百万円、自己株式の取得による支出が283百万円、配当金の支払額が272百万円であったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、為替の想定レートを1ドル140円から145円に変更しておりますが、2025年5月14日に公表しました予想から変更はございません。

当中間連結会計期間における業績につきましては当初の計画通りに推移しており、加えて為替の前提条件について現状を踏まえ、見直しをすることで良化要因となりますが、半導体供給不足等による生産減少等の影響を織り込んでおり、今後の見通しも不透明であることから、通期の連結業績予想につきましては据え置くことといたしました。

なお、これらは当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,230	15,548
受取手形及び売掛金	15,631	13,942
電子記録債権	5,162	3,763
棚卸資産	14,054	12,944
その他	2,764	3,770
貸倒引当金	△215	△171
流動資産合計	52,626	49,796
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	6,740	6,017
機械装置及び運搬具 (純額)	5,603	4,988
その他 (純額)	7,764	8,376
有形固定資産合計	20,108	19,382
無形固定資産		
その他	1,092	1,067
無形固定資産合計	1,092	1,067
投資その他の資産		
投資有価証券	2,246	2,657
その他	2,283	2,183
貸倒引当金	△27	△26
投資その他の資産合計	4,503	4,814
固定資産合計	25,704	25,264
資産合計	78,331	75,061
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,057	7,237
電子記録債務	5,024	4,302
短期借入金	700	481
未払法人税等	474	261
賞与引当金	850	938
製品保証引当金	109	107
その他	5,288	4,795
流動負債合計	20,504	18,123
固定負債		
長期借入金	573	313
退職給付に係る負債	1,280	1,266
その他	2,931	2,768
固定負債合計	4,785	4,348
負債合計	25,290	22,471

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,289	7,289
資本剰余金	7,041	7,041
利益剰余金	29,435	29,857
自己株式	△1,206	△1,467
株主資本合計	42,560	42,721
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,114	1,418
為替換算調整勘定	8,155	7,358
退職給付に係る調整累計額	874	752
その他の包括利益累計額合計	10,144	9,528
非支配株主持分	337	339
純資産合計	53,041	52,589
負債純資産合計	78,331	75,061

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	46,519	42,562
売上原価	43,328	38,852
売上総利益	3,190	3,709
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	779	672
給料手当及び賞与	1,126	1,089
賞与引当金繰入額	123	128
退職給付費用	25	21
減価償却費	62	71
その他	1,510	1,239
販売費及び一般管理費合計	3,627	3,222
営業利益又は営業損失(△)	△437	486
営業外収益		
受取利息	72	45
受取配当金	149	36
為替差益	57	—
その他	86	125
営業外収益合計	365	207
営業外費用		
支払利息	132	52
為替差損	—	120
支払補償費	4	2
設備移設費用	—	96
その他	44	25
営業外費用合計	181	298
経常利益又は経常損失(△)	△252	396
特別利益		
固定資産売却益	299	830
投資有価証券売却益	3,515	164
ゴルフ会員権売却益	—	1
特別利益合計	3,815	995
特別損失		
固定資産処分損	169	9
減損損失	—	5
特別退職金	441	—
特別損失合計	611	15
税金等調整前中間純利益	2,950	1,376
法人税、住民税及び事業税	653	357
法人税等調整額	450	15
法人税等合計	1,103	372
中間純利益	1,846	1,004
非支配株主に帰属する中間純利益	24	14
親会社株主に帰属する中間純利益	1,821	989



## (中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	1,846	1,004
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,600	303
為替換算調整勘定	2,046	△790
退職給付に係る調整額	△63	△121
その他の包括利益合計	△617	△608
中間包括利益	1,229	395
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,176	374
非支配株主に係る中間包括利益	53	21

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	2,950	1,376
減価償却費	1,490	1,618
減損損失	—	5
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△14	△30
賞与引当金の増減額 (△は減少)	92	87
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	3	△24
受取利息及び受取配当金	△222	△81
支払利息	132	52
特別退職金	441	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3,515	△164
固定資産処分損益 (△は益)	△129	△820
売上債権の増減額 (△は増加)	4,342	2,831
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△185	593
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,770	△1,367
その他	△519	△1,397
小計	3,096	2,679
利息及び配当金の受取額	209	88
利息の支払額	△138	△51
特別退職金の支払額	△66	△24
法人税等の支払額	△492	△492
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,607	2,198
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	215	225
有形固定資産の取得による支出	△1,242	△1,914
有形固定資産の売却による収入	1,100	1,310
投資有価証券の取得による支出	△6	△6
投資有価証券の売却による収入	5,215	242
その他	△270	△61
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,012	△204
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△781	△188
長期借入れによる収入	100	—
長期借入金の返済による支出	△1,772	△494
リース債務の返済による支出	△324	△372
配当金の支払額	△131	△272
自己株式の取得による支出	—	△283
その他	△143	△40
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,053	△1,651
現金及び現金同等物に係る換算差額	846	△185
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,412	156
現金及び現金同等物の期首残高	11,175	14,412
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	378
現金及び現金同等物の中間期末残高	16,588	14,947

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	アジア	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	18,559	16,102	11,857	46,519	—	46,519
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	6,088	3	3,111	9,203	△9,203	—
計	24,647	16,106	14,969	55,723	△9,203	46,519
セグメント利益又は損失(△)	△687	240	△57	△504	67	△437

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	アジア	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	17,506	13,811	11,244	42,562	—	42,562
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	5,297	1	2,596	7,894	△7,894	—
計	22,803	13,813	13,840	50,456	△7,894	42,562
セグメント利益又は損失(△)	△590	426	615	451	34	486

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日の海外連結子会社は、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っていましたが、意思決定の迅速化や管理体制の効率化を図り当社グループ一体となった経営を推進するとともに、業績等の経営情報の適時・適切な開示により、経営の透明性をさらに高めるため、当中間連結会計期間より、今仙電機股份有限公司、イマセン フィリピン マニュファクチュアリング コーポレーション、イマセン ビュサイラス テクノロジー インク、イマセン マニュファクチュアリング(タイランド) カンパニー リミテッド、イマセン マニュファクチュアリング インディア プライベート リミテッド、ピーティール・イマセン パーツ インドネシアは決算日を3月31日に変更し、広州今仙電機有限公司、武漢今仙電機有限公司、イマセン メキシコ テクノロジー エス エー デ シー ブイは、連結決算日である3月31日に仮決算を行い、連結する方法に変更しております。

なお、当該連結子会社の2025年1月1日から2025年3月31日までの3ヶ月の損益については利益剰余金で調整する方法を採用しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。